

中越大震災被災地域における梅雨期の土砂災害への対応について

北陸地方整備局湯沢砂防事務所及び新潟県土木部砂防課では、今後梅雨期を迎えるにあたり、地震により崩壊した箇所さらなる拡大等で新たな土砂災害の発生のおそれがあることから、砂防設備等を整備するハード対策はもとより、パトロールの強化、土砂災害危険箇所図の配布、インターネットによる土砂災害情報の公開等のソフト対策をあわせて推進し、降雨等による災害の防止や軽減をはかって参ります。

1 ハード対策の実施

対策が必要な箇所については、応急対策を含めて適切に対応します。(新潟県)

芋川流域においては、土砂崩壊状況等から対策優先度が高いと判断された箇所において、砂防堰堤等を主要工種とした土砂災害対策を実施するなど、適切に対応します。(湯沢砂防)

2 パトロールの強化

土砂災害の兆候を把握するため巡視等を強化します。(新潟県)

警戒が必要な基準雨量以上の降雨があった場合など、崩壊や土石流の発生等の土砂流出の有無について、ヘリコプターにより上空からの調査を実施します。(湯沢砂防・新潟県)

3 「土砂災害危険箇所図」の配布

再点検調査により、A及びBランクと判定された危険箇所については、「土砂災害危険箇所図」として関係する市町村に配布します。(新潟県)

4 インターネットによる土砂災害情報・芋川河道閉塞の監視画像の公開

河川・砂防・道路の情報を統合した「新潟県土木防災情報システム」の運用を6月27日から開始します。その中で「土砂災害緊急度情報」として土砂災害緊急度判定図等の各種情報をインターネットにより公開します。(新潟県)

土砂災害緊急度情報アドレス：<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/>

芋川河道閉塞箇所の監視画像を、湯沢砂防事務所ホームページで6月下旬から公開します。画像は、長岡市(旧山古志村)東竹沢地区、寺野地区の2箇所の各1画面を予定しています。これら画像は、新潟県や地元市町村等の関係機関等に従来から提供している画像です。あわせて、大源

太川(湯沢町)、中津川(津南町)の砂防堰堤^{えんてい}付近の画像(各1画面)も公開予定です。画像の公開時期については、6月下旬をめどに公開できるよう準備を進めているところです。(湯沢砂防)

湯沢砂防事務所ホームページアドレス：<http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>

問合せ先

北陸地方整備局湯沢砂防事務所	流域対策課	山本 悟
	調査課	杉本 宏之
		025-784-2263(代表)
新潟県土木部砂防課	企画調査係	高橋 幸彦
		025-280-5424